

『明解現代文B改訂版』(現B325)についてのシラバス案

科目 現代文B	単位数	4単位
	学科・学年・学級	

1 学習の到達目標など

学習の到達目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書・副教材など	『明解現代文B改訂版』(三省堂)(第2学年では第I部を扱います)

2 評価の観点の趣旨

a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く能力	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

3 学習計画及び評価方法など

(1) 学習計画など

第 1 学 期										
月	学習のねらい	配当時間	言語活動例	教材	単元の目標		具体的な評価規準		評価方法	考查範囲
4	○筆者と息子が、深まりゆく春の中で発見したことを読み味わう。 ○話題についての描き方をとおして、筆者の感じ方や思いを捉える。 学習指導要領の指導事項 イ/エ	3	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	俵万智「葉桜の頃」ブックガイド1	関心・意欲・態度	春が深まってゆく日々の中で示された、筆者や息子の感性の豊かさを、深く読み味わう。	筆者や息子が目にしている春の情景の一つひとつを、深く想像しようとしている。	行動の観察	第1学期中間考査	
					読む能力	作中に描かれた春のさまざまな情景を想像するとともに、筆者の感じ方や思いを捉える。	筆者が春の植物にあたたかいまなざしを向けていることを読み取っている。	記述の確認		
					知識・理解	主要な常用漢字の音訓を理解する。	主要な常用漢字の音訓を正しく理解し、書くことができる。	記述の確認		
5	○電車内の人々がとったさまざまな行動をおして、人の心のありようについて考える。 ○車内のできごとの様子を捉え、筆者の思いの変化を読み取る。 学習指導要領の指導事項 イ/オ	3	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	吉野弘「蜜柑の受難」日本語ストレッチ1 使役を表す表現	関心・意欲・態度	場面の状況を捉え、それぞれの人物の動きをもとに、人間の優しさについて考える。	蜜柑に対する行動から、それぞれの人物の思い、筆者の思いについて考えようとしている。	発言の確認	第1学期期末考査	
					読む能力	場面の状況と人物の動きを明らかにし、心情を表す言葉に着目して筆者の思いを読み取る。	電車の中の状況を捉え、時間の推移に伴って登場する人物の動きと、それに対する筆者の思いを理解している。	記述の確認		
					知識・理解	文脈の中に織り込まれたわずかな言葉が、書き手のものの見方や考え方を明確に示すことに気付く。 使役を表す表現と使い方について理解する。	「人間て、やはりいいな」という「やはり」に、筆者が本来持っている人間への信頼が表されていることに気づいている。 使役を表す表現について理解し、適切に使うことができる。	発言の分析 記述の確認		
6	○登場人物の微妙な心の移り変わりを読み味わう。 ○小説における擬声語などの表現技法について理解を深める。 学習指導要領の指導事項 イ/オ	4	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	川上弘美「水かまきり」日本語ストレッチ2 副詞①	関心・意欲・態度	登場人物たちの思いやお互いの心の交流について興味をもち、知りたいと思う。	登場人物同士の会話や心情表現の背後にあるそれぞれの思いに興味をもち、それがどのようなものか、知りたいと思っている。	行動の観察 記述の点検	第1学期期末考査	
					読む能力	登場人物それぞれの思いとその移り変わりを理解し、発表する。	会話と地の文をおして、擬声語などで表現された主人公二人の微妙な心の動きを理解し、発表している。	行動の観察		
					知識・理解	副詞の役割と使い方を理解する。	副詞の役割を理解し、適切に使うことができる。	記述の確認		
7	○揺れ動く人間模様をおして、「物作り」や「商売」が直面する問題について考えを深める。 ○登場人物の言動を手がかりに、それぞれの心情を読み取る。 学習指導要領の指導事項 イ/オ	5	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	内海隆一郎「芋ようかん」日本語ストレッチ3 副詞② ブックガイド2	関心・意欲・態度	登場人物の性格や思いについて理解する。	登場人物たちの性格やこだわりなどの交錯する思いについて理解しようとしている。	行動の確認	第1学期期末考査	
					読む能力	登場人物たちのそれぞれの思いと心の交流について理解する。	人々のそれぞれの思いがどのように絡み合い、どのように移り変わっていったのかを理解している。	行動の分析 記述の分析		
					知識・理解	副詞の役割と使い方を理解する。	副詞の役割を理解し、適切に使うことができる。	記述の確認		
7	○人間がその行動や思考において「進化」から外れた「誤り」を犯すことについて考える。 ○具体例を整理し、論の展開にしたがって、人間の行動や思考に関する筆者の考えを理解する。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	3	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開のしかたなどについて意見を書くこと。	長谷川眞理子「コンコルドの誤り」日本語ストレッチ4 接続の表現①	関心・意欲・態度	文章の題名がどういうことを象徴しているのかを捉える。	文章の題名「コンコルドの誤り」に象徴されているものが何であるかを、具体例を通じて捉えようとしている。	行動の確認	第1学期期末考査	
					読む能力	具体例と、そこから導き出される論理がどのようなものであるのかを理解し、説明する。	「コンコルドの誤り」とはどのような思考パターンであるのかを具体例と結びつけて理解し、説明している。	行動の確認 記述の分析		
					知識・理解	接続の表現と使い方について理解する。	接続の表現について理解し、適切に使うことができる。	記述の確認		
7	○人間とは何か、チンパンジーと比較することで見いだせる、人間の特徴を考える。 ○筆者の問題意識、具体例、考察という論理の展開を読み取る。 学習指導要領の指導事項 ウ/オ	4	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	松沢哲郎「想像する力」ブックガイド3	関心・意欲・態度	対比されている二つのものの共通点や違いについて理解する。	チンパンジーの行動と人間のそれとを比較し、整理して理解しようとしている。	行動の確認	第1学期期末考査	
					読む能力	対比されている記述内容の比較をおし、筆者の主張の中心とはどのようなものか、その論理を捉える。	人間とチンパンジーの行動との比較をおし、人間の特徴と可能性がどのようなものなのか、筆者の主張を理解している。	行動の分析		
					知識・理解	常用漢字によって表される類義語・対義語の意味を捉える。	類義語・対義語の意味を捉え、文脈の中でどのように使われるかを理解している。	記述の確認		
7	○手紙文と掲示の文章、メールの文章とを比較しながら、それぞれの文の形式や書き方を身につける。 学習指導要領の指導事項 エ	3	ウ 伝えたい情報を表現するためのメディアとしての文字、音声、画像などの特色をとらえて、目的に応じた表現の仕方を考えたり創作的な活動を行ったりすること。	手紙・メール・文章	関心・意欲・態度	手紙と文章、メールの書き方を知り、実生活に役立てようとする。	手紙と文章、メールの文章の書き方の違いを理解し、適切に文章を書こうとしている。	行動の観察	第1学期期末考査	
					書く能力	手紙と文章、メールの違いと、それぞれの書き方を理解し、実際に実用文が書けるようになる。	手紙と文章、メールの特徴を理解し、それぞれの形式で書けるようになっていく。	記述の分析		
					知識・理解	手紙と文章、メールの形式の違いを理解し、実際にそれぞれを書くことができるようになる。	手紙と文章、メールの形式がどのように違うのかを理解し、それにもとづいて適切に文章を書くことができるようになる。	記述の分析		

【課題・提出物など】

- ① 授業で使ったプリントやワークシート
- ② 授業で作成した資料や制作物など
- ③ 相互評価カード
- ④ 授業ノート

【第1学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

第 2 学 期									
月	学習のねらい	配当時間	言語活動例	教材	単元の目標		具体的な評価規準	評価方法	考查範囲
9	○「悲しみ」とは何なのか、想像をめぐらせながら繰り返し音読し、詩の内容と韻律を深く味わう。 学習指導要領の指導事項イ	2	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	中原中也「汚れつちまつた悲しみに……」	関心・意欲・態度	さまざまな表現形式やそれぞれの詩の内容のおもしろさを理解する。	さまざまな表現形式やそれぞれの詩の内容のおもしろさを理解しようとしている。	行動の確認	第2学期中間考査
					読む能力	繰り返し音読し、詩のリズムや、それがかもしだす情緒とおもしろさを捉える。	繰り返し音読し、詩のリズムや、それがかもしだす情緒とおもしろさを捉えている。	行動の分析	
					知識・理解	特徴的な詩の表現や技法を理解する。	特徴的な詩の表現や技法を理解し、適切に詩を音読している。	行動の確認	
					関心・意欲・態度	詩の表現のおもしろさに気づき、内容を叙述に即して的確に読み取る。	詩の表現の特色に気づき、「耳の秋」という題名に象徴される世界を的確に読み取ろうとしている。	行動の確認	
10	○音読をとおして情景を想像し、「耳の記憶」とは何かを考える。 学習指導要領の指導事項イ	1	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	新川和江「耳の秋」	関心・意欲・態度	詩の表現のおもしろさに気づき、内容を叙述に即して的確に読み取る。	詩の表現の特色に気づき、「耳の秋」という題名に象徴される世界を的確に読み取ろうとしている。	行動の確認	
					読む能力	詩の言葉のもつ象徴的な意味の広がりや、表現に即して捉える。	題名の「耳の秋」や、詩の中の「耳の記憶」「宇宙の記憶」などの語の象徴的な意味を捉えている。	行動の分析	
					知識・理解	「語り手」を中心とした詩の構造を捉える。	「語り手」がどこに位置し、どうしているのか、詩の構造を捉えている。	行動の分析	
					関心・意欲・態度	詩の修辞や言葉遣いのおもしろさに興味をもち、内容を理解する。	擬人法による表現だけでなく、ユーモラスな言葉遣いにも興味をもち、内容を理解しようとしている。	行動の確認	
11	○空を飛ぶ葉や、砂漠に咲く花の様子を想像しながら読み、この詩のおもしろさを味わう。 学習指導要領の指導事項イ	1	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	入沢康夫「未確認飛行物体」ブックガイド4	関心・意欲・態度	詩の修辞や言葉遣いのおもしろさに興味をもち、内容を理解する。	擬人法による表現だけでなく、ユーモラスな言葉遣いにも興味をもち、内容を理解しようとしている。	行動の確認	
					読む能力	自由な形式の口語表現による、想像力が描き出すのびやかな世界のおもしろさを捉える。	作者が描き出す、人間の内面が形象化された世界の、ユーモラスで豊かなイメージを捉えている。	行動の分析	
					知識・理解	擬人法の修辞表現について理解する。	擬人法という修辞がどういふものかを理解している。	行動の確認	
					関心・意欲・態度	四つのテーマを詠んだそれぞれ短歌の捉え方の違いに見られるおもしろさを知ろうとする。	四つのテーマをそれぞれの歌人がどのように捉えているか、その違いを知ろうとしている。	行動の観察	
12	○繰り返し音読してリズムを味わい、短歌に描かれた情景や心情を豊かに想像する。 学習指導要領の指導事項イ	4	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	「ただ一枚の絵葉書短歌十二首」	関心・意欲・態度	四つのテーマを詠んだそれぞれ短歌の捉え方の違いに見られるおもしろさを知ろうとする。	四つのテーマをそれぞれの歌人がどのように捉えているか、その違いを知ろうとしている。	行動の観察	
					読む能力	それぞれの短歌の表現上の工夫と、それによって描かれている情景や心情を捉える。	それぞれの短歌の修辞や表現上の工夫と、そこに描かれている情景や心情を的確に捉えている。	行動の分析	
					知識・理解	「句切れ」のもつ意味を理解する。	それぞれの短歌で「句切れ」があるかどうか、またあればどこにあるかを理解している。	行動の確認	
					関心・意欲・態度	物事を少し違った視点から見ることのおもしろさと、それがもつ意味について考える。	日々の日常生活を、今までは違った視点で見ることのおもしろさと、それがもつ意味について考えようとしている。	行動の観察	
11	○日常生活の中での「視点の切り替え」の重要性について考えを深める。 ○二つの具体例を比較し、その違いと共通点を捉えることを通じて文章の主題を的確に理解する。 学習指導要領の指導事項ア/オ	3	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	佐藤雅彦「前の駅出ました」日本語ストレッチ5 接続の表現②	関心・意欲・態度	物事を少し違った視点から見ることのおもしろさと、それがもつ意味について考える。	日々の日常生活を、今までは違った視点で見ることのおもしろさと、それがもつ意味について考えようとしている。	行動の観察	
					読む能力	認識における視点の切り替えの重要性について理解する。	日々の生活の中の何気ないことを、視点の切り替えによって新たなものとして捉えることができることを理解している。	行動の分析 記述の分析	
					知識・理解	接続の表現と使い方について理解する。	接続の表現について理解し、適切に使うことができる。	記述の確認	
					関心・意欲・態度	文章を読んで関心をもち、事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表した報告書や論文集などに編集したりすること。	飯間浩明「反対語を意識して考えよう」日本語ストレッチ6 助詞と文の意味	関心・意欲・態度	反対語に着目して考えることの意義を捉え、自分なりの考えをもつ。
12	○反対語に着目して考えることをとおして、ものの見方、考え方を深める。 ○あげられた具体例とその意図を捉え、筆者の考えを明らかにする。 学習指導要領の指導事項イ/オ	3	エ 文章を読んで関心をもち、事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表した報告書や論文集などに編集したりすること。	飯間浩明「反対語を意識して考えよう」日本語ストレッチ6 助詞と文の意味	関心・意欲・態度	反対語に着目して考えることの意義を捉え、自分なりの考えをもつ。	反対語の例、反対語に着目する意義について自分なりの考えをもとうとしている。	行動の観察 記述の確認	
					読む能力	反対語についてあげられた具体例とその意図を捉え、筆者の考えを読み取る。	世の中の反対語の例、反対語によりもの見方の変わる例、反対語を意識することがもつことを考える上で重要だという例をそれぞれ読み取っている。	記述の確認	
					知識・理解	語句の意味・用法、常用漢字を理解し、反対語の果たす役割について理解を深める。助詞の意味と使い方を理解する。	語句の意味・用法や漢字を説明したり使用したりし、また、反対語の機能を理解している。助詞が文脈の中でどういう意味をもつのかを理解し、適切に使うことができる。	記述の確認 記述の確認	
					関心・意欲・態度	小説の中に描かれた人間関係のありかたについて興味をもち、考えを深める。	小説の中に描かれた友情や信頼感について考えを深めようとしている。	行動の確認	
12	○社会の変容に伴う人間関係の変化と、時代を超えた信頼や友情について考えを深める。 ○登場人物の関係を捉え、それぞれの言動の背後にある心の動きを読み取る。 学習指導要領の指導事項イ/オ	5	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	井上ひさし「ナイン」日本語ストレッチ7 可能を表す表現①	関心・意欲・態度	小説の中に描かれた人間関係のありかたについて興味をもち、考えを深める。	小説の中に描かれた友情や信頼感について考えを深めようとしている。	行動の確認	
					読む能力	登場人物たちの人間関係と、そこから生まれるそれぞれの思いについて理解する。	登場人物どうしがもつ友情や信頼など、心の内に秘められたそれぞれの思い捉え、地域と人との関わりについても理解を深めている。	行動の分析	
					知識・理解	小説の構成について理解する。可能を表す表現と使い方について理解する。	時間軸にそって小説の構成を捉えることができる。可能を表す表現について理解し、適切に使うことができる。	行動の確認 記述の確認	
					関心・意欲・態度	場面の展開に合わせて人物の心情や行動を理解し、人生の意味について考える。	場面の展開に合わせて、「私」の「カコ」や「主婦」(妻)に対する心情の変化を捉えるとともに、「私」の心情を自分なりに考えようとしている。	行動の観察 記述の確認	
12	○物語という形式をとおして語られる、登場人物の心情の変化や人間どうしのつながりを読み味わう。 ○場面の展開を明らかにし、登場人物の言葉に込められたものの見方、考え方、感じ方などを読み取る。 学習指導要領の指導事項イ/エ	5	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	梨木香歩「カコの話」ブックガイド5	関心・意欲・態度	場面の展開に合わせて人物の心情や行動を理解し、人生の意味について考える。	場面の展開に合わせて、「私」の「カコ」や「主婦」(妻)に対する心情の変化を捉えるとともに、「私」の心情を自分なりに考えようとしている。	行動の観察 記述の確認	
					読む能力	登場人物や状況設定を読み取るとともに、場面ごとの人物の心情の変化を理解する。	「私」と「主婦」(妻)の関係性を捉えるとともに、物語の進行に合わせて変化していく「私」の心情の微妙な変化を理解している。	発言の分析 記述の分析	
					知識・理解	常用漢字の読みや意味を理解するとともに、文意に応じて使い分ける。	教材に出てくる常用漢字の読みや意味に慣れ、主な常用漢字の意味を理解したうえで書くことができる。	記述の分析	

【課題・提出物など】

- ① 夏休みの課題
- ② 授業で使用したプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した資料や制作物など
- ④ 相互評価カード
- ⑤ 授業ノート

【第2学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

第 3 学 期									
月	学習のねらい	配当時間	言語活動例	教材	単元の目標		具体的な評価規準	評価方法	考查範囲
1	○真の豊かさとは何であり、それを手に入れるためにはどうすればよいか考える。 ○具体例をあげる意図を明らかにし、筆者の主張と根拠を読み取る。 学習指導要領の指導事項 ウ/エ	5	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	原研哉「持たないという豊かさ」 日本語ストレッチ 8 可能を表す表現②	関心・意欲・態度	暮らしの豊かさとは何であるか、筆者の主張をおおして考える。	物を所有することが本当に豊かなことなのか、筆者の主張をおおして考えようとしている。	行動の観察	第3学期期末 末考査
					読む能力	文章の構成や展開を確かめ、表現の特色を捉え、筆者の主張の中心を理解する。	所有しないこと、物を捨てることの中にこそ暮らしの豊かさを見いだしていこうとする、筆者の主張の中心を理解している。	行動の分析 記述の分析	
					知識・理解	可能を表す表現と使い方について理解する。	可能を表す表現について理解し、適切に使うことができる。	記述の確認	
2	○「ネット人格」の具体例を手がかりに、自己と他者との関わりについて考えを深める。 ○身の回りにおける具体例を想起しながら、抽象的な用語の意味を捉え、筆者の論旨を明らかにする。 学習指導要領の指導事項 ア/エ	5	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	坂村健「ネット人格」 ブックガイド 6	関心・意欲・態度	「インターネットの現状」を理解し、これからのあるべき姿について考える。	「インターネットの現状」を理解し、これからのあるべき姿について考えようとしている。	行動の観察 記述の分析	
					読む能力	「ネット人格」者が現れる原因を捉える。	「ネット人格」者が現れる原因を、文章から二点あげることができる。	行動の観察 記述の分析	
					知識・理解	慣用的表現を理解し、文章表現で活用できるようにする。	「豹変」「推して知るべし」「火に油を注ぐ」「一線を越える」など慣用的表現を理解し、文章表現で活用できている。	記述の確認	
3	○「私」の心情・思考を読み取り、人間の心や孤独、通じ合うことなどについて考えを深める。 ○場面や時間の推移に注意して構成や展開を把握し、人物の行動や心情を読み取る。 学習指導要領の指導事項 イ/オ	9	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	夏目漱石「こころ」 日本語ストレッチ 9 声で表現する	関心・意欲・態度	今までに学んできた夏目漱石の文章について思い起こし、この作品に関心を持ち、内容を知らうとする。	小・中学校を通じて過去に読んだ夏目漱石の作品を思い起こし、筆者と作品に関する興味を持ち、内容への関心を深めようとしている。	行動の確認	
					読む能力	登場人物それぞれの行為や心情に対する理解を深め、小説の主題について、適切な、自分なりの見解を形成する。	登場人物それぞれの置かれた状況や行動、心情について分析し、自分なりに主題に関する理解を深め、整理している。	記述の確認 行動の分析	
					知識・理解	主要な熟語や同音異義語の意味を理解する。 音声による表現について理解する。	主要な漢語の二字熟語や同音異義語の意味を理解している。 音声による表現について理解し、伝えたい意図に応じて適切に表現できる。	記述の確認 行動の分析	
	○お薦め本を、書店で見るポップの形で紹介することにより、相手や目的に合った情報の発信の仕方について理解を深める。 学習指導要領の指導事項 エ	3	ウ 伝えたい情報を表現するためのメディアとしての文字、音声、画で、目的に応じた表現の仕方を考えたり創作的な活動を行ったりすること。	お薦め本のポップを作ろう	関心・意欲・態度	自分の好きな本について友人に伝えようと、さまざまな発信の仕方を工夫する。	自分が興味をもっていることをどのように他人に伝えるか、その方法を工夫しようとしている。	行動の観察	
					書く能力	書く目的を実現するのにふさわしい文章の形態や語句により、適切に表現し、伝える。	自分が伝えたい内容を、相手が理解しやすい形態や語句により、適切に表現している。	記述の分析	
					知識・理解	文章における表記や表現の方法を身につける。	文章を書く上での適切な表記や表現方法を身につけている。	記述の分析	

【課題・提出物など】

- ① 冬休みの課題
- ② 授業で使用したプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した資料や制作物など
- ④ 相互評価カード
- ⑤ 授業ノート

【第3学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評価は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

【年間の学習状況の評定方法】

「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「知識・理解」の観点で評価した、第1学期、第2学期、第3学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として5段階で評定します。

確かな学力を身につけるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・「現代文B」は、国語総合の授業で学んできたことを受け継ぎ、その内容を発展させた総合的な科目です。国語の表現力、理解力を身につける努力に加え、それらの能力を基盤として、人と人の関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら、伝え合う力を高めることをこころがけてください。また、近代文学をはじめとするさまざまな言語文化に目を向け、それらを享受して、国語を愛し育てる態度を培ってください。 ・目的や課題に応じて、さまざまな情報を収集し活用して、進んで表現するよう努めてください。 ・学んだことを定着させるためには復習が肝要です。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理しましょう。
授業を受けるにあたって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に感じた疑問などは、その場で質問してください。 ・課題・提出物などは期限内に必ず提出してください。 ・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うよう努めてください。

(2) 担当者からのメッセージ

「現代文B」では、言葉をおおして現実をみつめ、主体的に生き、伝え合う力を高めて、二十一世紀における新たな日本を切り開くことができる国語の力を育成することを第一のねらいとしています。受け身ではなく自ら学ぶ姿勢をもって授業に参加し、自己を表現すると同時に相手の表現を理解することをこころがけてください。また、授業のみならず、日常生活の中でも積極的に言葉にかかわり、幅広い視野、人間性を身につける努力を続けてください。

『明解現代文B改訂版』（現B325）についてのシラバス案

科目 現代文B	単位数	4単位
	学科・学年・学級	

1 学習の到達目標など

学習の到達目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書・副教材など	『明解現代文B改訂版』（三省堂）（第3学年では第II部を扱います）

2 評価の観点の趣旨

a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く能力	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

3 学習計画及び評価方法など

(1) 学習計画など

第 1 学 期									
月	学習のねらい	配当時間	言語活動例	教材	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法	考查範囲	
4	○幼い頃の思い出をとおして描かれる、友達との交流の様子を読み取る。 ○できごとの内容を整理しながら、それぞれの場面で的心情を捉える。 学習指導要領の指導事項 イ/オ	3	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	さくらももこ「春の小川の思い出」 日本語ストレッチ1 主述の照応を整える	関心・意欲・態度	随想に表れた筆者の思いやものの見方に関心をもち、理解を深める。	随想に表れた筆者の心情やものを見る視点に関心をもち、理解を深めようとしている。	行動の観察	第1学期中間考查
					読む能力	身近なできごとを取りあげた随想の中に表現されている心情やものの見方を捉える。	日常的なできごとを描いた随想の中に表れた心情やものの見方を的確に把握している。	行動の分析	
					知識・理解	文章における主語と述語の照応を理解する。	文章における主語と述語の照応を理解し、適切に文章を書くことができる。	記述の確認	
5	○筆者が指摘する『枕草子』の現代に通じる感性や思考はどのようなことか考える。 ○具体例とそれに対する考えとの関係を捉えながら、筆者の意図を捉える。 学習指導要領の指導事項 イ/オ	3	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	小川洋子「千年の時が与えてくれる安堵」 日本語ストレッチ2 修飾語の係り受けを整える ブックガイド1	関心・意欲・態度	筆者が指摘する『枕草子』の現代に通じる感性や思考はどのようなことか考える。	筆者が指摘する『枕草子』の現代に通じる感性や思考はどのようなことか、自分なりに考えようとしている。	行動の観察	第1学期期末考查
					読む能力	文章から、具体例とそれに対する考えとの関係を捉え、そこから筆者の意図を捉える。	文章から、『枕草子』の具体例とそれに対する考えとの関係を捉え、そこから筆者の意図を捉えている。	記述の確認	
					知識・理解	修飾語の係り受けについて理解する。	修飾語の係り受けについて理解し、適切に文章を書くことができる。	記述の確認	
6	○閉じ込められた山椒魚の、変化する思いを読み味わう。 ○小説の展開を捉えるとともに、優れた表現・文体の効果を明らかにする。 学習指導要領の指導事項 イ/オ	5	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	井伏鱒二「山椒魚」 日本語ストレッチ3 長い文をわかりやすくする	関心・意欲・態度	主人公が置かれた状況を、自分の身に置き換えて考える。	山椒魚が陥った状況に、もし自分がなつたとしたらどう思うかを考えるか、さまざまに想像しようとしている。	行動の観察	第1学期期末考查
					読む能力	登場人物の心理の変化と物語の山場での思いについて、文の構成や展開、表現などを考え合わせながら総合的に捉える。	山椒魚の思いの変化を蛙のそれと比較して捉え、結末に関して自分なりの意見をもって述べることができる。	行動の分析 記述の分析	
					知識・理解	わかりやすい文章表現を身につける。	伝えたいことが、読み手に適切に伝わるよう文章を書くことができる。	記述の確認	
7	○特別で微妙な関係にある、感受性豊かな高校生どうしの思いを、想像豊かに味わう。 ○一人称の語りから、「ピクニック」や三人の登場人物それぞれに対する心情を読み取る。 学習指導要領の指導事項 イ/オ	4	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	恩田陸「ピクニックの準備」 ブックガイド2	関心・意欲・態度	登場人物たちの関係とそれぞれの思いを、文脈を追いながら捉える。	登場人物たちの特殊な関係と、それぞれが抱いている思いについて、整理して捉えようとしている。	記述の確認	第1学期期末考查
					読む能力	登場人物のそれぞれが置かれた状況とその思いを捉える。	特殊な関係の二人の主人公とその友人の三者が、どういう状況でどんな思いを抱いているかを、叙述にそって捉えている。	行動の分析 記述の分析	
					知識・理解	日常的に用いられる慣用句の意味を理解する。	日常生活で用いられる慣用句の意味を理解し、適切に使うことができる。	記述の分析	
8	○筆者の主張を捉え、科学という方法がどのようなものであるのか考える。 ○評論文における文章の構成と、論の組み立て方を明らかにする。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	5	エ 文章を読んで関心をもち、事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	森博嗣「科学的というものはどういう方法か」 日本語ストレッチ4 さまざまな文を整える	関心・意欲・態度	全文を通読し、科学的な考え方や方法がどのようなものか、自分の考えをもつ。	あげられたそれぞれの具体例ごとに、筆者が科学的、非科学的と判断する根拠を理解し、自分の考えをもととして捉えている。	行動の観察	第1学期期末考查
					読む能力	科学と非科学との境界がどこにあるのか、筆者の考えを捉える。	「科学」といえるためにはどういうことが必要なのか、理解している。	行動の観察 記述の確認	
					知識・理解	文章の組み立て、語句の意味、用法などを理解し、語彙を豊かにする。	段落と論理の流れについて理解している。	記述の点検	
9	○「ホンモノ」というキーワードを手かがりにして、お金とは何かについて考える。 ○具体例を明らかにしながら、構成にしたがって論理を捉える。 学習指導要領の指導事項 ウ/エ	5	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	岩井克人「ホンモノのおカネの作り方」 日本語ストレッチ5 敬語① ブックガイド3	関心・意欲・態度	「ホンモノのおカネ」に関する筆者の論の展開のおもしろさを捉える。	「おカネ」の本質とは何か、実例を駆使して説明する筆者の論の展開のおもしろさを捉えようとしている。	行動の観察	第1学期期末考查
					読む能力	具体例とそこから導き出される論理とを整理してまとめる。	「ホンモノのおカネ」とニセガネとの違いの具体例から、「おカネ」の本質とは何か、筆者の考えを逆説的な論の展開を追いながら的確に捉えている。	行動の分析 記述の分析	
					知識・理解	「逆説」による論理の展開を理解する。 敬語の表現について理解する。	「逆説」による論理展開を実例と関連させて理解している。 敬語の表現について理解し、適切に使うことができる。	行動の分析 記述の確認	
10	○水槽に沈んでいるユメカサゴの姿を想像し、「ユメ」とはなんなのかを考えながら詩を味わう。 学習指導要領の指導事項 イ	1	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	吉原幸子「ユメカサゴ」	関心・意欲・態度	詩の内容に合ったリズムや音色で、工夫をこらして朗読する。	詩に内在するリズムや、詩から感じ取られる情感を工夫して表現し、朗読しようとしている。	行動の分析	第1学期期末考查
					話す・聞く能力	詩の中で形象化されているイメージがどのようなものであるのかを読み取る。	美しい熱帯魚たちと比較して描かれた詩の中の「そいつ（ユメカサゴ）」の姿から、ユメがどのようなものとして考えられているのかを読み取っている。	行動の分析	
					知識・理解	詩の表現上の特徴を捉える。	詩の中の語の表記や詩のリズムなど、表現上の特徴を捉えている。	行動の分析	

【課題・提出物など】

- ① 授業で使用したプリントやワークシート
- ② 授業で作成した資料や制作物など
- ③ 相互評価カード
- ④ 授業ノート

【第1学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

第 2 学 期									
月	学習のねらい	配当時間	言語活動例	教材	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法	考查範囲	
9	○「いもうと」と別れることになる朝、「わたくし」は何を考へ、「いもうと」のために何を考へるのか、「わたくし」の気持ちになって詩を深く味わう。 学習指導要領の指導事項イ	2	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	宮沢賢治「永訣の朝」	関心・意欲・態度	さまざまに工夫された表現や構成から、筆者の思いを捉える。	方言の使用や独特の情景描写が「わたくし」の心情表現にどのような効果を与えているのか、捉えようとしている。	行動の観察	第2学期中間考査
					読む能力	詩の中のさまざまな形の表現や構成の技巧が、心情の表現にどのように効果的にはたらいているかを捉える。	妹に対する「わたくし」の思いを、方言を使った心中語の表現を中心に内容、構成の両面から的確に捉えている。	行動の分析 記述の分析	
					知識・理解	方言の使用など、詩の特徴を理解する。	方言の使用など、詩の特徴を理解している。	行動の確認	
	○繰り返し音読してリズムを味わい、俳句に描かれた情景や心情を豊かに想像する。 学習指導要領の指導事項イ	4	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	「ノートの先に海 俳句十二句」	関心・意欲・態度	俳句という短詩型文学のおもしろさを捉える。	俳句という独特の短詩型文学の特徴やおもしろさを捉えようとしている。	行動の観察	
					読む能力	それぞれの俳句がもつ特徴と感動の中心を捉え、文章にまとめる。	それぞれの俳句において表現されている感動の中心を捉え、それに対する自分の意見を書いている。	記述の分析	
					知識・理解	俳句の修辞など、基本的な知識を身につける。	季語や切れ字がどのようなものか、理解している。	行動の確認	
	○模擬面接の中での自己PRにおいて、自分の良さをどのようにアピールし伝えていくか、手順を追いながら体験する。 学習指導要領の指導事項エ	3	ウ 伝えたい情報を表現するためのメディアとしての文字、音声、画像などの特色をとらえて、目的に応じた表現の仕方を考えたり創作的な活動を行ったりすること。	自己PRをしよう	関心・意欲・態度	自分の将来に向けて必要な自己PRの方法について興味をもち、実際に体験する。	模擬面接に向けて自分自身の長所をみつめ、自己PRを通じて実際にそれを伝えようとしている。	行動の観察	
					読む能力	自分の長所を客観的な視点から捉え、整理して、模擬面接の中で実際に表現する。	自分の長所を簡潔に客観的な視点から見て整理し、模擬面接を通じて他人に効果的に伝えていく。	記述の分析 行動の分析	
					知識・理解	面接における言葉遣いの基本を理解する。	面接において適切な言葉遣いで話すことができる。	行動の分析	
10	○筆者のいう〈世界〉や〈聖域〉とは、どのようなものなのかを考へる。 ○自身の経験と関係づけながら筆者の考への変化を読み解く。 学習指導要領の指導事項ウ/オ	3	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	見田宗介「コモリン岬」日本語ストレッチ6 敬語②	関心・意欲・態度	筆者の経験を自分の経験と結びつけ、読み取った内容を深める。	筆者の発見が書かれている箇所を確かめ、自分にも同じような経験がないか、確かめようとしている。	行動の確認	
					読む能力	筆者の発見の中心を本文に即して的確に捉える。	できごとの時間的な推移とその関係を正確に捉え、筆者の発見した内容を正しく指摘したり、まとめたりしている。	記述の確認	
					知識・理解	中心になるできごとと筆者の考へが文章の中でどのような関係になっているか、理解する。 敬語の表現について理解する。	できごとの描写と考への叙述を正しく区別し、その関係を理解している。 敬語の表現について理解し、適切に使うことができる。	記述の分析 記述の確認	
	○なまけもの姿をとおして語られる文明批評の精神について考へを深める。 ○「逆説」「比喩」などを多用した、独特な表現方法の効果を理解する。 学習指導要領の指導事項ウ/オ	3	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考へやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	別役実「なまけものコンプレックス」ブックガイド4	関心・意欲・態度	筆者が取りあげた具体例が何を表すのかを捉える。	筆者がなぜなまけもの様子に興味をひかれたのかを考へようとしている。	行動の観察	
					読む能力	具体例をとおして語られる現代人間社会への批評的視点を捉える。	筆者がなまけもの姿をとおして逆説的に語る人間社会への批評の意味を捉えている。	記述の分析	
					知識・理解	主要な常用漢字の音訓を理解する。	主要な常用漢字の音訓を正しく理解し、書くことができる。	記述の確認	
11	○主人公の生き方や人間の運命について考へを深める。 ○漢文調の文章を味わうとともに、人物の言動から人物像を明らかにする。 学習指導要領の指導事項イ/オ	7	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	中島敦「山月記」日本語ストレッチ7 敬語③	関心・意欲・態度	小説の話の展開のおもしろさを理解する。	中国の古典を基にした虎への変身譚のおもしろさがどのようなところにあるのか、理解しようとしている。	行動の観察	第2学期期末考査
					読む能力	自己を物語ることにより、主人公が自己をみつめ、変貌していく姿を読み取る。	主人公・李徴が苦悩し、破滅し、再会した旧友に自らを語ることにより、自己をみつめ、変貌する姿を捉えている。	行動の分析 記述の分析	
					知識・理解	小説の構成について理解する。 敬語の表現について理解する。	小説の緊密に計算された構成について理解している。 敬語の表現について理解し、適切に使うことができる。	行動の確認 記述の確認	
12	○他者とのやりとりによって自分自身の在り方の内省へ向かっていく主人公の姿を捉える。 ○作中の人物の言動をとおして、複雑に動く登場人物の関係性や心情を捉える。 学習指導要領の指導事項イ/オ	5	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	梅崎春生「魚の餌」日本語ストレッチ8 敬語④	関心・意欲・態度	自分の経験したことを語るということへの興味をもち、その語る行為が自分に何をもたらすかについて自分なりの考へをもつ。	主人公と小さな兄弟とのできごとを語ることによって、主人公自身への省察が深められていくことについて、自分なりに考へようとしている。	発言の確認	
					読む能力	小説中の表現から登場人物の心情や状況を読み取る。	小説の表現の中に暗示的や象徴的に示される主人公および兄弟の心情を細かく読み取り、その背景にある戦争という時代状況も捉えている。	記述の確認	
					知識・理解	常用漢字の音訓や難解な語句の意味を理解し、読んだり書いたりし、短文などの中で使用する。 敬語の表現について理解する。	出てくる常用漢字の読みに慣れ、正しく書けるようになるとともに、難解な語句の意味を調べ理解する。 敬語の表現について理解し、適切に使うことができる。	行動の観察 記述の確認	
	○私たちにあってあるべき「自由」について、考へを深める。 ○言葉の定義を確かにして文脈を読み取る。 学習指導要領の指導事項ウ/オ	4	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考へやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	鷲田清一『自由』のはき違え」日本語ストレッチ9 敬語⑤	関心・意欲・態度	緊密な構成による論理展開と、それが導き出す結論を捉える。	私たちにあって「自由」とは何であり、「自由をはきちがえる」とはどういうことかを捉えようとしている。	行動の観察	
					読む能力	文章の中での重要語句(キーワード)に着目し、どのようにして結論に至るか、その道筋を捉える。	文章中の、結論に結びつくいくつかのキーワードをあげ、結論を導く論理の流れを説明している。	記述の分析	
					知識・理解	重要な対義語や類義語の意味を把握する。 敬語の表現について理解する。	重要な対義語や類義語を文脈の中で理解している。 敬語の表現について理解し、適切に使うことができる。	行動の確認 記述の確認	

【課題・提出物など】

- ① 夏休みの課題
- ② 授業で使用したプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した資料や制作物など
- ④ 相互評価カード
- ⑤ 授業ノート

【第2学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

第 3 学 期

月	学習のねらい	配当時間	言語活動例	教材	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法	考查範囲
1	○「時間」や「未来」とは何かについての確認をとおして、「現在」の在り方を考える。 ○問題提起と、それに対する答えという対応を明らかにして、文章の主旨を読み取る。 学習指導要領の指導事項 ウ/オ	5	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	養老孟司「かけがえない未来」 日本語ストレッチ10敬語⑥ ブックガイド5	関心・意欲・態度	「時間」や「未来」について、自分なりの考えをもつ。	「現在」と「未来」の関係について、改めて自分なりに考えようとしている。	発言の確認
					読む能力	文章の主旨を読み取り、批判的に捉えて、「時間」や「未来」について考えを深める。	子どもがなぜ割を食うのかを説明でき、それについての自分の考えをもっている。	発言の分析
					知識・理解	冒頭と末尾の呼応という視点から、文章の構成の特徴を理解する。敬語の表現について理解する。	冒頭の抽象的な物言いを、本文に即して具体的に説明できている。敬語の表現について理解し、適切に使うことができる。	記述の確認 記述の確認
2	○戦争の状況を捉え、平和について考えを深める。 ○文章表現における語句の使い方を吟味し、的確な描写を味わう。 学習指導要領の指導事項 ウ/エ	5	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	半藤一利「十五歳の東京大空襲」	関心・意欲・態度	社会的なできごとを描いた文章を読み、そこに生きる人間の姿を捉える。	東京大空襲という社会的なできごとを現実経験した人間の視点から、そこで生きる人間の姿がどのようなものであったか関心をもち、捉えようとしている。	行動の観察
					読む能力	事実を描いた文章を読むことを通じて、社会的事実とともにそこに生きた人間の思いを理解する。	東京大空襲という歴史的なできごとがどういうものであり、そこに生きた人間が何を感ず、どう捉えているのかを理解している。	行動の分析 記述の分析
					知識・理解	難しい訓読みの読みを理解する。	難しい訓読みの読みを理解している。	記述の確認
3	○十五歳の少年が経験した東京大空襲の記録を読み、自分の意見を文章で表現する。 学習指導要領の指導事項 エ	3	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	自分の意見を書こう	関心・意欲・態度	戦争の記録を読み、そこで生きた人間の思いを捉え、意見を述べる。	書かれた記録の事実を順を追ってまとめ、実際に体験した筆者の思いを捉え、自分の意見を述べようとしている。	行動の観察
					書く能力	戦争という悲惨な現実を実際に体験した筆者の視点をふまえ、戦争というものに対する自分なりの考えを形成し、文章に表現する。	筆者の具体的な経験の叙述と、そこで感じた思いを整理し、戦争というものにどのように向き合うのか、自分なりの考えをもち、文章に表現している。	記述の分析
					知識・理解	原稿用紙の正しい書き方や表記について理解する。	句読点や記号、改行、段落、数の表記の仕方など、原稿用紙の書き方の基本的な規則を理解している。	記述の確認

【課題・提出物など】

- ① 冬休みの課題
- ② 授業で使用したプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した資料や制作物など
- ④ 相互評価カード
- ⑤ 授業ノート

【第3学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評価は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

【年間の学習状況の評定方法】

「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「知識・理解」の観点で評価した、第1学期、第2学期、第3学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として5段階で評定します。

確かな学力を身につけるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・「現代文B」は、国語総合の授業で学んできたことを受け継ぎ、その内容を発展させた総合的な科目です。国語の表現力、理解力を身につける努力に加え、それらの能力を基盤として、人と人との関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら、伝え合う力を高めることをこころがけてください。また、近代文学をはじめとするさまざまな言語文化に目を向け、それらを享受して、国語を愛し育てる態度を培ってください。 ・目的や課題に応じて、さまざまな情報を収集し活用して、進んで表現するよう努めてください。 ・学んだことを定着させるためには復習が肝要です。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理しましょう。
授業を受けるにあたって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に感じた疑問などは、その場で質問してください。 ・課題・提出物などは期限内に必ず提出してください。 ・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うよう努めてください。

(2) 担当者からのメッセージ

「現代文B」では、言葉をとおして現実をみつめ、主体的に生き、伝え合う力を高めて、二十一世紀における新たな日本を切り開くことができる国語の力を育成することを第一のねらいとしています。受け身ではなく自ら学ぶ姿勢をもって授業に参加し、自己を表現すると同時に相手の表現を理解することをこころがけてください。また、授業のみならず、日常生活の中でも積極的に言葉にかかわり、幅広い視野、人間性を身につける努力を続けてください。